

各位

アイウェアの JINS(ジンズ) メガネ業界初の資源循環の仕組みづくりを本格始動！ ～環境省が支援する「PLA-PLUS (プラプラ)プロジェクト」に参画～

株式会社ジェイアイエヌ(東京本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:田中仁)は、社会全体でのプラスチックリサイクルの仕組みづくりを推進するため、環境省が支援する実証事業「PLA-PLUS(プラプラ)プロジェクト」にメガネ(アイウェア)ブランドとして唯一参画します。不要となったアイウェアの回収と再資源化を実現することで、商品、消費者、リサイクルをつなげる「環境動線^{※1}」を構築する取組みを本格的に始動します。

■ 資源循環を視野に入れた“次の”アイウェア・カルチャー創りを見据えて

「服を着替えるようにメガネを楽しむ」という、2001 年の事業開始以来当社が提唱してきた「アイウェア」のコンセプトは多くのお客様からの支持を受け、メガネは従来の「視力補正器具」の枠組みを超えた、より身近なファッションアイテムとして私たちの生活シーンに着実に根付きつつあります。結果、当社が展開するアイウェアショップ「JINS」(ジンズ)店舗およびオンラインショップにおける販売本数も国内最多となる年間 330 万本(※2012 年 8 月期目標)を目指すまでに成長し、アイウェア・カルチャーは、今後ますます大きな広がりとなって、社会に浸透して行くことが予想されます。

一方で、アイウェアがファッション化し、多くのお客様が季節やシーンに合わせて複数のアイウェアを購入するシーンが日常化するにつれて多く寄せられるのが、“不要になったアイウェアの取り扱い”に悩む声。特に近年高まる環境意識にも後押しされ、たくさんのお客様から「長年愛用したメガネをただ捨てるのはもったいない」、「リサイクルできる良い方法はないのか?」といった声が多く寄せられていました。

このような流れの中、当社は、2011 年 6 月より不要となったアイウェアの回収とリサイクルを開始。JINS 全店に「メガネリサイクル BOX」を設置して不要となったアイウェアを回収し、日本環境設計株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩元美智彦)のケミカルリサイクル技術により重油をはじめとする「資源」へと蘇らせる取組みをすすめてきました。

当社ではこの度、この実績とノウハウを生かし、社会全体でのプラスチックリサイクルシステムの仕組み構築を推進するため、環境省が支援する「PLA-PLUS(プラプラ)プロジェクト」^{※2} にアイウェアブランドとして唯一参画いたします。当プロジェクトでは、消費財を中心に各業界を代表する企業が参画し^{※3}、業界を超えたプラスチック製品のリサイクルスキームの構築を目指します。不要となったアイウェアの回収と再資源化を実現することで、商品、消費者、リサイクルをつなげる「環境動線」を構築する取組みを本格的に始動し、アイウェア業界のリーディングカンパニーとして、資源循環の仕組み作りまでを見据えた“次の”アイウェア・カルチャーの創造に挑戦して参ります。



※1 環境動線とは、PLA-PLUS プロジェクトの定義によると、「消費者、回収、リサイクルを結ぶ軌跡を表す。その動きをつなげていくことにより、消費者がわかりやすく効率的な回収・リサイクルの仕組みづくりを構築することである。」としています。

※2 PLA-PLUS プロジェクトは、環境省の「プラスチック等の効率的な回収システムの構築及び再資源化ビジネス支援事業」における実証事業で、製品プラスチックの資源循環を推進させる大きな意義のある取り組みです。

※3 アスクル株式会社、スターバックスコーヒー・ジャパン株式会社、株式会社タカラトミー、らでいっしゅぼーや株式会社、株式会社良品計画などの企業の参加が予定されています。

■ 一目でわかる「ハチくん」アイコン採用！統一キャラクターの起用で構築する「環境動線」

PLA-PLUS プロジェクトでは、不要となったプラスチック製品を消費者から回収するイメージとして、回収した製品を運ぶ「ハチ」をモチーフとした統一のアイコンが参加企業各社で採用されています。JINS では、この「ハチ」をデザインした専用の「メガネリサイクル BOX」やポスターを全店に設置し、不要となったアイウエアを回収します。

また、店舗以外にも、ウェブサイト、ソーシャルメディア等の多様なコミュニケーション手段を用いて、多くの消費者に PLA-PLUS プロジェクトを視覚的に認知していただき、アイウエアをはじめとしたプラスチック製品のリサイクルを効率的に促す「環境動線」の構築を目指します。



PLA-PLUS プロジェクトの「ハチくん」アイコン

■ PLA-PLUS プロジェクト回収実験期間におけるアイウエア回収の概要

対象期間： 2012 年 3 月 3 日(土)～3 月 11 日(日)※4

対象店舗： 日本国内の JINS および spectreJINS 全店舗
(フランチャイズ含む全国 132 店舗 ※2012 年 1 月末現在)

回収方法： JINS 各店舗内に設置されている「PLA-PLUS プロジェクト メガネリサイクル BOX」に不要になったメガネ、サングラスを入れてください。

(※店舗によりボックスの設置場所は異なります)

回収対象製品： アイウエア製品全て(サングラスを含む JINS 以外のアイウエアも対象となります。)

備考： ・セルフレーム/メタルフレーム、メガネレンズ/サングラスなど、フレーム素材の種類、レンズの種類は問いません。

・金具、装飾は付いたままで回収可能です。

・損傷したメガネ、サングラスも回収可能です。損傷の程度は問いません。

・回収にご協力いただき、アンケートにご回答くださったお客様にはオリジナルグッズを差し上げます。(※各店舗のスタッフにお声掛けください。)

・一度お預かりした回収品はお戻しすることはできませんのでご注意ください。

※4 環境省が支援する実証事業としてのアイウエア回収実験は2012年3月11日までとなりますが、その後もPLA-PLUSプロジェクトは継続し、当社は引き続き JINS 全店でアイウエアの回収・リサイクルを実施いたします。

■ JINS 店舗で「ハチくん」を探してアイウエア回収にご協力を！

JINS のお店に不要となったアイウエアをご持参ください。



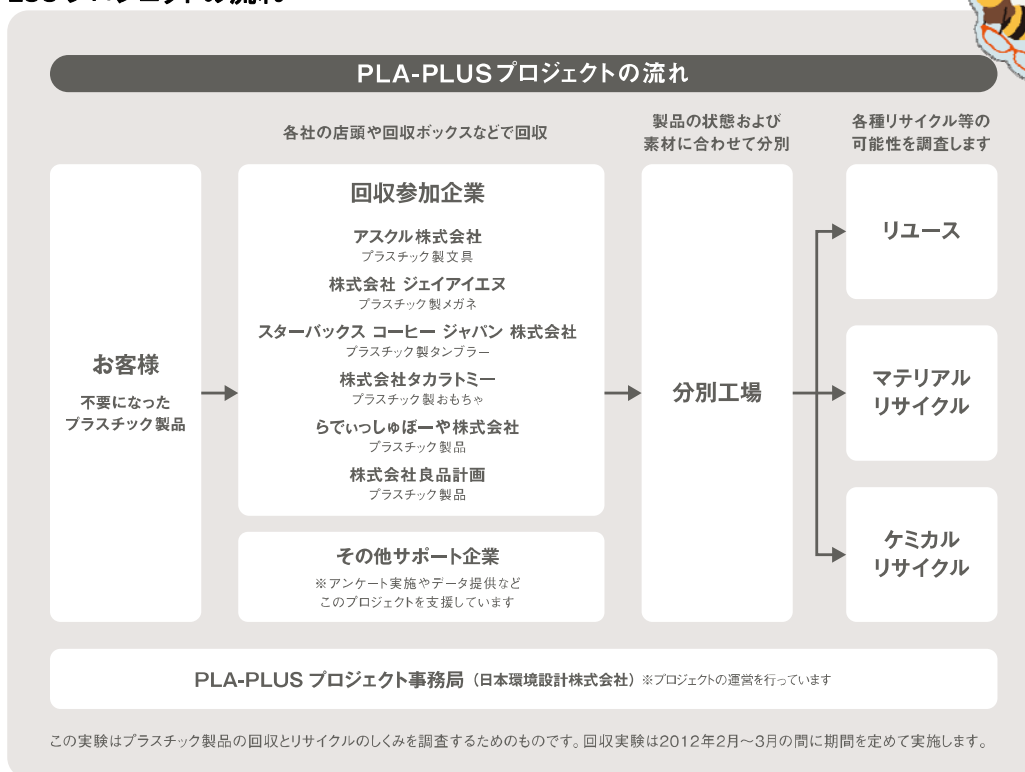
お店に貼ってあるハチくんのポスターが目印！



アイウエアはハチくんがデザインされた回収 BOX へ！



■ PLA-PLUS プロジェクトの流れ



■ ケミカルリサイクル技術について

携帯電話や家電製品、および、プラスチック製品等は、日本環境設計株式会社等の保有するリサイクルインフラを活用することで、再び有益な資源へと生まれかわります。メガネのプラスチック3P(PP,PE,PS)部分は油化技術によって重油へ、金属部分は金属へリサイクルされます。その他残渣としてでてくる炭素やガスも再利用が可能です。

以上

株式会社ジェイ アイ エヌ 会社概要

社 名	株式会社ジェイ アイ エヌ（証券コード:3046）	上 場	JASDAQ 市場（スタンダード）
代表者	代表取締役社長 田中 仁	売上高	14,574 百万円（連結：2011 年 8 月期実績）
所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目 34 番 17 号 住友不動産原宿ビル 20 階 （前橋本社 群馬県前橋市川原町 2-26-4）	店 舗	（アイウエア） 全国 132 店舗（直営 130 店舗） 海外 4 店舗（直営/中国 瀋陽 2・天津 2） （2012 年 1 月末現在）
設 立	1988 年 7 月 8 日	URL	http://www.jin-co.com/
資本金	5 億 1850 万円		

■当リリースに関するお問合せ先

（株）ジェイアイエヌ PR担当 中島

TEL : 03-3479-4848 FAX : 03-3479-4849 E-mail : pr@jin-co.com